

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名		町村会職員福利厚生事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	市長公室	担当者名	林 かおり
	基本事業	82	効果的な組織運営		所属班	秘書人事班	(内線)	1216
					法令根拠	地方公務員法第42条		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	10
								コスト削減優先度評価結果	6

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 18 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
熊本県町村会職員共済事業(火災・自動車共済事業、任意共済事業、個人年金共済事業)

【業務の流れ】  
【火災・自動車共済事業】職員所有の住宅および自動車の共済  
【任意共済事業】生命保険と医療保険  
【個人年金共済事業】個人企業年金

①職員へ共済事業の周知②更新時に加入や変更等確認書類の送付  
③書類の審査④保険料の徴収および納付

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 同上事業を行った。平成20年4月 職員数 330人	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同じ。平成21年4月 職員数 324人
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 職員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 取り扱い件数 件 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 熊本県町村会の各種共済事業に加入し生活の安定と福祉の向上を図る。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 職員数 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 計画を達成するための効果的な組織となっている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 加入率 % → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 効果的な組織と思う職員の割合 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0          0  0
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	
	うち指定経費	千円							
	うち時間外、特殊勤務手当	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	232	230	246	240	240	240	
	(B)人件費計	千円	921	915	979	955	955	955	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	921	915	915	979	955	955	
活動指標	ア イ	件	339	436	438	454	450	450	目 標 計 画  22 年 度
対象指標	ア イ	人	345	340	334	334	328	328	
成果指標	ア イ	%		43.2	44.2	45.9	45	45	
上位成果指標	ア イ	%							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
福利厚生の一環として熊本県町村会に加入している団体として行ってきた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
市になったことにより全国市長会の共済事業へも加入できるようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特になし

事務事業名	町村会職員福利厚生事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	-------------	-----	-------	-----	------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 町村会(職員共済)事業により、職員の生活の安定と福祉の向上につながっている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 職員の福利厚生事業である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 追加する対象がない。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 効率よくできている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 職員の福利厚生が行えなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似する事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 人件費のみの事業であり、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 合併前はそれぞれ一人ずつで行ってきた事務を現在は一人でやっているため、これ以上削減する余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 全職員が対象であり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。現状のままでよいと思われる。 ②有効性については、…。現状のままでよいと思われる。 ③効率性については、…。現状のままでよいと思われる。 ④公平性については、…。現状のままでよいと思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策特に無し。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )